

「パブリック・コメント制度」提出意見に対する考え方

1 案件名	都市計画マスタープラン（中間報告）について
2 実施日	平成19年1月15日(月)～平成19年2月4日(日)
3 趣旨	<p>越前市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2「市町村の都市計画に関する基本的な方針」に基づいて定める計画です。</p> <p>上位計画にあたる越前市総合計画（現在策定中）や、福井県が策定する「丹南都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」等との整合を図りながら定めるものです。</p> <p>今後のまちづくりや都市整備の基本的な方向性を示すとともに、個別具体の施策である土地利用の規制・誘導や各種都市施設の整備、都市計画事業などを行う際の指針となるもので、今年度より2ヵ年をかけて策定します。</p> <p>市では、「都市計画マスタープラン策定委員会」を設置すると共に、11月までに3回の策定委員会を開催し議論する中で、まちづくりにおける主要課題・基本理念・基本目標をとりまとめました。</p> <p>皆様のご意見・ご提案をお伺いします。</p>
4 意見提出者数（件数）	9人（16件）

5 意見に対する考え方

【安心・安全について】

意見概要	考え方・対応
電柱に蛍光灯を付けてください。暗くて歩きにくく、私有地で取り付けられないため、区の電気として取り扱う様をお願いします。	・都市計画マスタープランでは、「交通ネットワークの方針」や「安全安心まちづくりの方針」において、安全で快適な歩行者空間づくりについて記載することを検討しております。

【庁舎、市街地活性化等について】

意見概要	考え方・対応
越前市は多額の市債を発行し、現在600億の借金があります。新しい庁舎を建造しない方が正解だと思います。	・新庁舎建設については、現在の大変厳しい財政状況を踏まえ、当面は財源の確保を図りながら、長期的な視点に立って、計画的に進めることといたしております。
市内は駐車場が多くなり住宅がとりこわれそれだけ人が少なくなった感じです。	・都市計画マスタープランでは、魅力ある中心市街地の形成に向けた多様な都市機能の充実を図るとともに、まちなか居住の推進、空き家や空き地の活用などについて記載することを検討しております。
介護保険がだんだん高くなり年寄りには年金が減り大変です。	・高齢者や障がいのある人を含め、全ての人が安全で快適に暮らすことのできる都市環境を形成することは、都市計画マスタープランとしても重要な課題であると認識しています。

【将来のまちづくり構想について】

意見概要	考え方・対応
<p>当地は山が多いので地下トンネルで商店街を造成してはどうですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地下空間については、都市機能が高度に集積する大都市などにおいて、さらなる土地利用の高度化、都市機能の集積などを図るための手段として利用されていますが、地方都市においては必要ないと考えます。
<p>村国山と日野川の水を利用して、アメリカのディズニーランドのようになりませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 村国山や日野川だけでなく、本市を取り囲む自然環境は重要な資源であると認識しています。村国山の一部は、都市公園として設置されています。 「公園・緑地の整備方針」や「景観形成の方針」においても、身近な自然環境の保全・活用を方針として検討する予定です。
<p>10年～20年先を考えて思い切った事はできませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 越前市都市計画マスタープランは、概ね20年後を目標とした長期的な視点で策定を進めています。 今後、人口の減少や超高齢化、地球規模での環境問題の深刻化、行政総コストの増大などが予想される中で、持続可能な越前市を創造していくためには、生活圏などを考慮したコンパクトなまちづくりが必要だと考えています。

【スポーツ施設について】

意見概要	考え方・対応
<p>公園に小中高生も利用できるバスケットゴールとボールの設置、又キャッチボールがしやすいようなネットの整備をお願いしたいと思います。勉強に疲れた時にちょっと気分転換できる場があると良いと思います。アメリカのドラマでは街のあちこちでバスケット等楽しまれているのが映し出されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いや休息、遊戯、スポーツ・レクリエーション活動等の場となる公園や緑地は、都市施設として重要な役割を果たしており、今後も整備・保全に努めてまいります。 「公園・緑地の整備方針」において、「公園・緑地の計画的な配置」及び「機能の充実」などを方針として検討する予定です。

【道路整備等について】

意見概要	考え方・対応
<p>通勤、通学のための主要道路である広瀬 白山間の新道路の早期開通を希望します。 白山 広瀬間の融雪装置を希望する。特に米口 丸岡は雪深く、凍りとても危険である。若者が通勤しやすく住みよい白山になる様宜しく願います</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道武生米ノ線の整備については、県に要望しながら早期開通をめざしております。

<p>私は五分市から市内へ通う者ですが、庄田町の一部、狭い場所があり、万葉中などへ通学している生徒が危なくて可哀想です。立ち退きから10数年と月日が経っています。又、バイパスから万葉中までその為か融雪が無い状況です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡幅がなされていない箇所につきましては、県道菅生武生線でありまして、県に対し引き続きの道路整備の要望をしております。 ・ 「交通ネットワークの方針」において、「安心して歩ける快適な歩行者空間・通学路の整備」を方針として検討する予定です。
<p>住みよい街作りの基本は、安心、安全である。過去のいくつかの事例から、災害の発生時には、責任者共々徹底チェックをするべきだと思う。費用の問題ではない。担当部署の責任体制(責任者の罰則)など強化しておくべきです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 策定中の都市計画マスタープランの中で、今後、安心・安全な街づくりの方針を位置づけることを検討しております。 ・ 災害に強い都市基盤の整備として、市民が安全・迅速に避難することができるように安全な避難路、避難施設の確保や、水道、電気、通信などのライフラインの施設の確保が重要であると考えております。

【意見の集約について】

意見概要	考え方・対応
<p>策定に当たっては、議論をしっかりと進めてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在都市計画マスタープランにつきましては、策定委員会で作業を進めておりますが、平成19年度には、地域別構想を策定するにあたり、各地域における市民の皆様のご意見をお伺いするとともに、再度パブリックコメントを実施する予定をしております。

【市の広報表現について】

意見概要	考え方・対応
<p>パブリック・コメント、コンパクトシティやマスタープランなど難解なカタカナ語が頻繁に出てきて、言葉の意味が分からないのですが、どうして市民が理解できない用語をあえて使うのはなぜだ疑問です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の皆様から広くご意見をいただくのがパブリック・コメントの本旨ですから、今後、説明やお知らせなどの際には、注釈を加えるか、別のわかりやすい表現に見直しをいたします。

【安心・安全について】

意見概要	考え方・対応
<p>まちづくりの基本目標に「安心して住み続けられる快適な街の創造」が挙げられている。しかし、日野川帆山橋下流の右岸堤防が整備されていないなど、危険箇所が放置されている状況をどう考えていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の日野川堤防につきましては、県が管理している箇所でありまして、今後県の方とも連携しながら、安心・安全の街づくりに努めてまいります。

【庁舎の移転について】

意見概要	考え方・対応
持続可能なコンパクトシティの形成、及び中心市街地における公益的機能の集約整備と都市計画マスタープランに謳っているが、市は郊外に庁舎を移転する計画をしているなど明らかに施策が矛盾しているが、どう考えていますか。	<ul style="list-style-type: none">・ 新庁舎建設については、現在の大変厳しい財政状況を踏まえ、当面は財源の確保を図りながら、長期的な視点に立って、計画的に進めることといたしております。・ 都市計画マスタープラン（中間報告案）の中でも、拡大成長型都市構造からの転換が必要であるため、基本目標に「持続可能なコンパクトシティの形成」を掲げ、今後秩序ある機能的な都市の形成をめざしてまいりたいと考えております。